

神戸大学ニュースネット

NEWS NET

©神戸大学ニュースネット委員会 http://www.std.kobe-u.ac.jp/newsnet/
関西学生報道連盟共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-21-9-502
電話06-6307-1315 FAX06-6307-1316 メールnewsnet@std.kobe-u.ac.jp

バイト探しに
この一冊!!

アルバイト探しのバイブルマガジン
FROM A
毎週の発売 定価200円

1月号

今月の内容

- 1面：さくらボウル、商船大と統合
- 5面：震災特集
- 8面：ラクロス、定演フラッシュ

完封で2連覇

タッチフット 「みんながみんなまで」 さくらボウル 全員でつかんだ勝利

タッチフットの日本一を決める「第六回さくらボウル」が一月三日、東京ドームで行われた。神戸大ROOKSは東京グレートアローズに20-0で完封勝ち。さくらボウル二連覇を成し遂げた。

第2Q、終了間際にグレートアローズQB青柳がスクランブル、エンドゾーンまで詰め寄るがぎりぎりまでG/D T福永がタッチ。両者無得点で前半を折り返した。

試合が動いたのは第3Q七分、QB東本からWR/CB吉永にロングパスが通



第2Q、QB東本のランでファーストダウンをテイ
ン(1月3日・東京ドームで撮影)大串真紀

りTD。第4Qにも神戸大はファーストダウンを重ね、追加点。試合残り五十分でC/EへのTDパス。TFPも決め、20-0。完封勝利でさくらボウル二連覇を成し遂げた。

前半、点が入らずもどかしい展開。「東京ドームの雰囲気は呑まれ、緊張していた」と鈴木文字主将は言う。相手の東京グレートアローズは社会人のチーム。学生とほっと味違う。いつもならランやパスが通せる状況でも、強じんなディフェンスがそれを阻む。

前半終了直前のTDへの防御成功、これが後半の攻撃の突破口となった。屋内試合の対策として、心肺能力をあげるためのマスクをつけて練習した。後半の連続得点は体力差による結果だ。

「みんながみんなまで」

資料保存の意義

震災文庫が5周年

付属図書館主催の「震災文庫」開設五周年記念講演会が十一月二十二日、瀧川記念学術交流会館で行われ、震災資料保存に関わっている専門家などが講演を行った。

「震災文庫」は阪神大震災関連の資料を収集している神戸大が、人文・社会学系図書館内に平成七年十月に設置した文庫。災害復興や地震研究、防災対策に役立つよう、震災に関する図書や雑誌、チラシなど二万点を超える資料が公開されている。

また、資料をデジタル化

してインターネット上に公開する事業(アーカイブズ)も行っており、所蔵する資料目録や、主に被災者から寄せられた約十五万点の写真などもホームページで公開している(http://www.lib.kobe-u.ac.jp/ebh)。

さらに一月十七日から、被災者が撮った音声・映像資料を公開することが決定。この日公開されたのは、電車の不通を知らせる車内アナウンスや、震災直後の被災地を撮影したビデオ。いずれも混乱する被災地を生々しく伝えるものだった。

震災特集

震災は風化しつつあるのか、それとも、まだ忘れられてはいないのか。阪神大震災から6年目をむかえる2001年の震災特集では、学生が震災についてどのように思っているかを調査する、アンケートを実施した。

《5面へ》



試合前、レギュラー、控え選手全員で円陣を組む。掛け声は「いくぞー、1、2、3、ルークス」(1月3日・東京ドームで撮影)大串真紀

19連覇達成 三大学体育大会

半年間にわたった三大学体育大会の閉会式が十二月七日、六甲大講堂で行われた。神戸大は総合成績で十九連覇を達成した。

六月二十九日に開幕した三大学体育大会(旧三商大戦)は今年で第四十回目。神戸大を舞台に二十種目の競技が行われた。

神戸大は総合成績で優勝(第二十二回からの連覇となる。空手、陸上、弓道男女など十九種目で一位。三種目で二位、六種目で三位だった)。

大会実行委員長の近藤勇志さん(理・三)は「優勝旗を次の代に残せて嬉し

い」と書かれた垂れ幕。攻撃も守備もベンチでの応援も一人だけではできない。全員でというROOKSのモットーが勝利に結びついた。

一九九四年創部の若いチームが、わずかの七年で全国二連覇。「誰も言わなくても死ぬ程練習する(今岡コーチ)」という個々の選手の情熱が、チーム全体を成長させた。

「二連覇。こんなすごいことは、みんな一緒だからできた」と鈴木主将も言うように、「全員」もぎ取った勝利だった。

【大串真紀】

商船大と統合を検討 「双方にとって良い道を」

神戸大と神戸商船大(原)は、統合に向けて検討を進める。神戸大は十二月二十一日の評議会でも、神戸商船大の片岡邦夫副学長は「国立大学の独立行政法人化で、あちこちの大学で統合が進んでいる。その影響もあったのではないだろうか」と話している。また具体的な統合の時期などについては「まだ決まっていない」としている。

神戸商船大の原学長は「国立大学の独立行政法人化の問題とは関係なく、統合も含めた将来の大学構想に

このころ注意

被害は「大」

キャンパスで見られる動物ナンバワンのいりし。六甲山の開発で住み家を追われ、最近では御影あたりでも目撃されている。

昨年十月、国文キャンパスの課外活動施設がいのししに襲われ、二つの部屋が破壊される事件が起きた。特にワンゲルの部屋では、棚や備品はちろん、畳

神戸大 閑話

〜其の六〜

「第一発見者は「誰かいる」と思ってドアを開けると、いきなり(いのしし)が飛び出してきた」と興奮気味。関係者も「被害総額は計り知れない」とショックを隠せない様子。

NHK放送コンテストが十二月十六日と十七日、立命館で開催。神戸大放送委員会は四部門に出場、DJ部門で指方美佳さん(国文・二年)が二位に入賞。テーマと音楽の雰囲気合せていたとろろを評価してもらえた」と話した。

DJ部門で2位 放送コンテスト

NHK放送コンテストが十二月十六日と十七日、立命館で開催。神戸大放送委員会は四部門に出場、DJ部門で指方美佳さん(国文・二年)が二位に入賞。テーマと音楽の雰囲気合せていたとろろを評価してもらえた」と話した。

伏流水

今年も、神戸が鎮魂に包まれる日が始まった。あの日から、美しい街「神戸」が、一瞬のうちに地獄に変わった。あの日から六年が過ぎた。一月十七日になると、私は毎年、家に置いてある震災の写真集に目を通す。破壊された街、燃えさかる炎、泣き叫ぶ被災者、無力な行政。あの日起こった出来事を忘れられない。自分自身は大きな被害を受けたわけではないが、隣町の惨状に心を痛め、テレビにくぎづけになった。五年が経ち、神戸の大学に通うことになった。想像以上の街の復興と記憶の風化に驚きを覚えた。震災で全壊し、直後に訪れたときは、レハアだったJR六甲駅は、今やビルが立ち並んでいる。大学周辺に多く並んだ仮設住宅も昨年の春に全て撤去された。神戸の冬の風物詩「ルミナリエ」も、もとは震災復興を願って始められた。しかし、点灯の瞬間、手をあわせる被災者に何人かが気づいたのだろうか。今も今も、震災の記憶が、学生に伝わる。震災でなくなった三十人、九人の神戸大生を、忘れてはいけない。六十二人の尊い命を。

【宮生航】

第40回三大学体育大会

競技種目	1位	2位	3位
空手	神戸大	一橋大	大市大
弓道男子	神戸大	一橋大	大市大
弓道女子	神戸大	大市大	一橋大
競技ダンス	一橋大	神戸大	大市大
剣道	神戸大	一橋大	大市大
硬式庭球	神戸大	大市大	一橋大
硬式野球	大市大	一橋大	神戸大
ゴルフ	神戸大	一橋大	大市大
サイクリング	大市大	一橋大	神戸大
サッカー	神戸大	大市大	一橋大
柔道	神戸大	一橋大	大市大
準硬式野球	大市大	神戸大	一橋大
水泳	神戸大	大市大	一橋大
競技スキー	一橋大	神戸大	大市大
卓球男子	大市大	神戸大	一橋大
卓球女子	神戸大	大市大	一橋大
軟式庭球男子	神戸大	大市大	一橋大
軟式庭球女子	一橋大	大市大	神戸大
バスケットボール	神戸大	大市大	一橋大
バレーボール	神戸大	大市大	一橋大
ハンドボール	神戸大	一橋大	大市大
フィールドホッケー	一橋大	大市大	神戸大
ボート	神戸大	一橋大	大市大
洋弓男子	神戸大	大市大	一橋大
洋弓女子	一橋大	大市大	神戸大
ラグビー	神戸大	大市大	一橋大
ラクロス	神戸大	一橋大	大市大
陸上競技	神戸大	大市大	一橋大
総合成績	神戸大 109点	大市大 71点	一橋大 63点

【注】合気道は合同練習。競技スキーは大市大は不参加。バドミントンは閉会式以後に試合。

サークル総覧 2001

参加団体募集

神戸大学ニュースネット委員会ではホームページと学内紙「神戸大学NEWS NET」4月号に「サークル総覧2001」を掲載します。神戸大学の全クラブ・サークル情報をまとめたものにする予定です。掲載希望・問い合わせは090-4298-1612(オオグシ)までご連絡下さい。また、ホームページhttp://www.std.kobe-u.ac.jp/newsnetをご覧ください。

神戸大学 NEWS NET

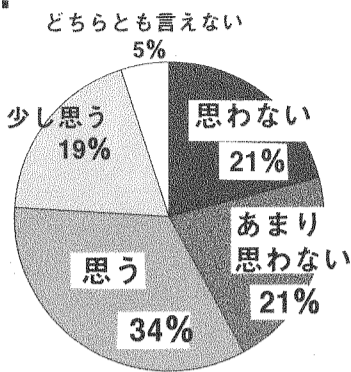
震災に関する意識調査

2001年 震災特集

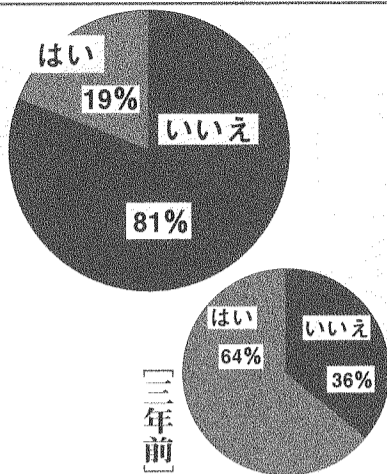
今年の一月十七日で阪神・淡路大震災から六年目を迎えた。今回、私たち神戸大学ニューズネット委員会は、震災に対する学生の意識を知りたいと思い、二百八十八人にアンケート調査を実施した。

三年前の一九九八年、関学新月通信社、神女院大K.C.Press編集部の三大学の新聞が共同で、大学生として震災を体験した四年生を含め、約三百五十人に今回と同じような内容のアンケートを実施している。その結果との比較を交えて今回の集計結果をまとめた。

Q1. 当時、震災を実感したと思いますか



Q2. 震災のことでボランティア活動などに関わったことはありますか

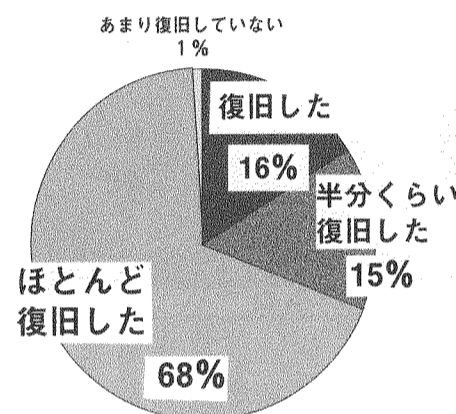


Q1で「震災を実感した」という回答は五三%。被災経験者だけでなく、なかには「当時は神戸に住んでいなかったけど怖かった」(経済・三年)、「地震発生当時は神戸にいなかったが、九五年四月に入学し、まだ混乱している状態の中で震災を感じた」(国文・院二)という人もいた。

ボランティアなどに関わった人の割合は三年前と逆転。わずか一九%だった。また、Q1で「震災を実感した」と思う、「少し思う」と答えた人のうちQ2で「はい」と答えた人は三六%だった。

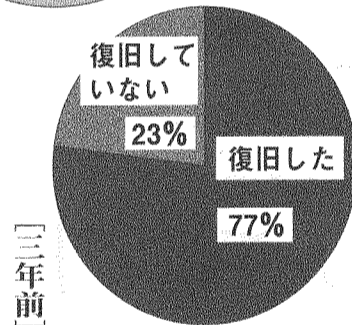
ボランティアの内容は炊き出しや食料の運搬、被災状況調査など。被災地以外で募金活動を行った人もいた。

Q4. 震災の跡はどれくらい復旧したと思いますか



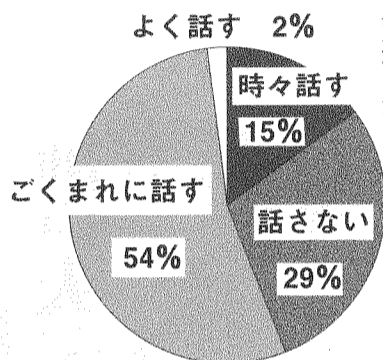
「復旧した」「ほとんど復旧した」と答えた人が八四%のほった。「神戸は復興した」と認知されたようだ。しかし「復興したとはいえない地域もある」(経済・二年)という指摘もあった。

また学年別にみると、学部生の集計結果はほとんど変わらなかったが院生では「復旧していない」と答えた人が若干多かった。

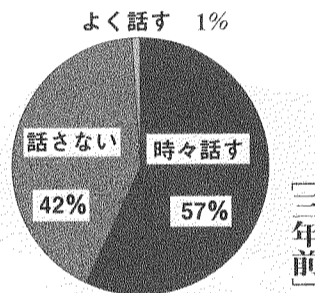


三年前

Q3. 震災についてどれくらい家族や友人と話しますか



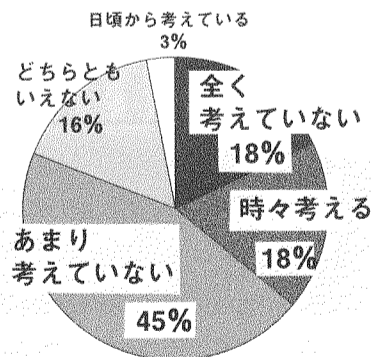
「よく話す」「時々話す」が合わせて一九%。三年前に比べて大幅に減、三年前にはなかった選択肢「ごくまれに話す」が半数以上を占めた。また、Q1で「震災を実感した」と思わない「と答えた人で「話す」という人はほとんどいなかった。



三年前

なかには「神戸はもっと震災について語られていると思っていたので少し拍子抜けした」(国文・二年)という記述もあった。

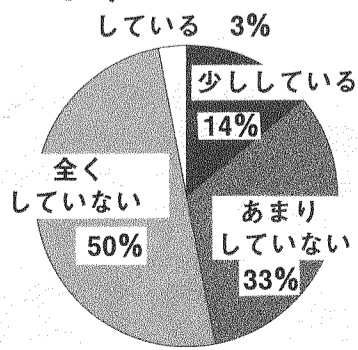
Q6. 防災についてどの程度考えていますか



今回、新たに学生の防災意識について聞いた。調査結果では防災について「全く考えていない」「あまり考えていない」人が合わせて六三%。震災での学生の犠牲者は下宿生に集中したが、「めんどくさい」「時間が足りない」など下宿生では防災を真剣に考えている人はほとんどいなかった。「もう過去の事」「あんな大きな災害はもう当分ない」と思う。「災害が起こったその時はその時。今は何も考えていない」という人も多かった。

一方で、「震災以降、気をつかうようになった」「家族と話している」という人もいた。具体的な防災対策として、家具の固定、非常用バッグの準備、避難方法の確認、家族との連絡方法の打ち合わせをしている、などがあつた。

Q7. 何か防災対策をしていますか



● その他、震災について思うことはありますか

- 祖母が震災のショックで少し気がふれてしまった時期があった。精神面でのケアの重要性を感じた。(経営・四年)
- 神戸の人の震災への想い、復興への底力には心服します。一方で行政の対応のまずさ、不景気の神戸経済など、現代社会の病が震災を機に爆発したように思います。(経済・四年)
- 私の住んでいる地域では家具が倒れるか倒れないかという程度の揺れでしたが、とても怖く、その日の夜は眠れませんでした。でも今は少しの揺れなら前ほど怖くはなくなりましたが。(経営・二年)
- 全く被害を受けなかったのであまり関心がない。(経済・院一)
- 神戸の壊滅状態を見て他人事と思っていたが、その当時は思ってもいなかった「神戸」に来たのは、何かの巡り合わせのような気がする。(経済・二年)
- 私が住んでいるところは震災がすんなりと、慰霊碑があるはず。(国文・二年)
- 震災の記憶は年々風化していると思う。(文・院一)
- 被災者の心を伝えてほしい。(経済・四年)
- あれだけの災害を目の当たりにしたのに、防災が不十分だと思う。(経済・三年)
- 当時は神戸周辺にはいなかったので実感わかない。(文・一年)
- 震災の行事が最近ではなくなり、イベント化されてしまっているのも、もっと風化させないようにできれば良いと思う。(理・院二)
- マスコミで取り上げられている地域がたまたまにるように思う。(理・院一)

震災特集

阪神・淡路大震災から6年

